

## 会 議 録

会議の名称	令和6年度 第3回 福津市男女共同参画審議会
開催日時	令和7年2月13日(木) 午後7時00分～午後8時50分
開催場所	本館2階 庁議室
出席委員	■横山 美栄子 ■山下 永子 ■三牧 誠 ■藤田 正雄 ■松尾 光浩 ■花野 天地子 ■山口 尚志 ■漆谷 慎一
欠席委員	佐藤 聡・宗岡 正枝
所管課職員氏名	市民生活部長 谷口 由貴 男女共同参画推進室室長 吉村 隆之 男女共同参画係長 末廣 要
会議議題	(別紙次第参照) ①推進事業実施状況一覧の書式について ②来年度の審議会運営について
会議の公開・非公開	公開
傍聴者数	1名
資料の名称	・【資料1】令和6年度男女共同参画プラン進捗状況報告シート ・【当日配布】男女共同参画推進事業実施状況一覧サンプル ・【当日配布】「男女共同参画プラン・ふくつ」概要版
会議録の作成方針	要点筆記によるまとめ
	記載内容の確認方法 会議録署名人: 花野 天地子 ㊞
審議内容	
<p><b>【事務局(末廣)】</b> ～説明、確認等～ 本会議の成立宣言を行います。 福津市男女共同参画審議会規則第3条第1項の規定により、委員の半数以上の出席で会が成立します。本日は、委員10名中8名の出席をいただいておりますので、本審議会は成立したことを報告いたします。福津市附属機関の会議の公開に関する要綱9条第2項の規定に準じ、会議録を作成するときは、会長が指定した者により会議の確認を得るものとする事となっておりますので、会長により指名をお願いします。</p> <p><b>【横山会長】</b> 今回は、花野委員にお願いしたいと思います。</p> <p><b>【事務局(末廣)】</b> 本審議会は公開となっておりますので、福津市附属機関の会議の公開に関する要綱第5条の規定に準</p>	

じ、1名の方が本市議会の傍聴希望されておりますので、傍聴人を入場させたいと思いますが、よろしいでしょうか。

⇒ 全員了承

### 1. 市民生活部長より挨拶

### 2. 会長より挨拶

この後の進行につきましては、福津市男女共同参画審議会規則第2条第2項の規定により、横山会長をお願いします。

### 3. 議題

#### ①推進事業実施状況一覧の書式について

##### 【横山会長】

議題の一つ目は、先ほど事務局よりお話ありましたように、福津市の男女共同参画推進事業実施状況一覧(以下、「実施状況一覧」という。)へ御意見頂いてきたわけなんですけれども、どうしても具体的なディスカッションというところまでなかなか至りませんでした。

これがもう少ししやすくなるようにということで、前回私の方からもお話しさせていただきました。資料1を見ていただいてもよろしいでしょうか。

別の市の「進捗状況報告シート」(以下、「シート」という。)という形で、どういう目標に対してその担当課がどういうことをやってきたか、1枚ものになっている訳です。これは例として、他にも別の目標に対しての進捗状況報告シートというのが何枚かあります。

～～【資料1】について、当日配布の「男女共同参画プラン・ふくつ 概要版」において説明～～

今後、実施状況一覧は、できたところできなかつたところ、課題と今後の方針の欄、実は来年度からここは課題と今後の方針を別枠にしようというふうに考えています。この欄に対して審議会の意見を書くという形でこれをフィードバックするという流れです。

もう既にそれは実施状況一覧で皆さんにやっていただいているんですけど、具体的に議論していくためにももう少し見やすい形にできないか。それを全部の項目でやるかどうかは別としても、少し比較したりとかそういったことがしやすいような形にしてはどうか検討したいと思っています。

その他、資料1の「担当課の自己評価」欄において、ABCD4段階かな、それからそれに対して「審議会の評価」というのをABCDの4段階評価をすることになっていますけど、福津市はそういう評価はしていない。もし評価をするような形が望ましいということであれば、そういうことも入れてもいいかもしれないと思います。

これに対して、御意見、御質問頂ければと思います。

##### 【山口委員】

今言われたAからDまで4段階評価ですね。評価の基準が必要ですね。Aが、良いなのか非常に良いなのか。Bは普通なのかとか。

それからシート内に「課題・今後の方針」欄がありますけど、まずは「課題」と「今後の方針」は分けないといけないと思います。以上です。

【藤田委員】

シートの「具体的に取組んだ内容」っていうのは、当審議会でもいつも問題になってる2年前のっていうような感じですか。

【横山会長】

そうですね、タイムラグがあるんですね。

だから、次年度の場合には、今年度やったこと等に対しても書いていただくということになるわけですが、それを1年間かけてその後に出すっていうことになるので、ずれるわけですね。ただそれを、今後、その方向でいくのか。早い段階でフィードバックするのかっていうことは一つ大きな課題になるかなと思います。

今年度の評価は、6月ぐらいまでには書いていただくことになってるかと思うんですね。

3月の段階で、各係で書いていただいてそれを取りまとめてもらう。

それを第1回審議会でも出してもらうという形なので、審議会が開催される6月の段階で、それに対する意見を審議すると、結局各課に渡す(フィードバックする)のは、年度末になってしまうので、例えばそれをもう少し早い時期に返す(フィードバックする)というようなこともあるのかなど。

【山下委員】

様式っていうのは、これがー(ひと)シートずつになっているということですね。

様式を変えるのであれば、私はタイミングの問題が優先じゃないかなど。

分野は違いますが、私がいろいろな自治体さんにヒアリングをしていくときに、来年度事業の予算化のときに、7月の段階で一旦事業評価をやって、その中で企画や財務部門がヒアリングをしてっていう、前倒してやっているところもあります。

終わったものに対してっていうのは、何か改善していこうという事業に関しては、それじゃ何も改善出来ないところになります。つまり、早い段階で来年度の予算申請の前には、一旦今までの分だけ、今後の予定とかでも、特にいいと思うんですね。予算は、前期で予算消化をできるという実態はないと思います。大体今事業は10月後半からイベントが続いていくと思います。それがこういうことをやりますっていうのが出てきた段階で、一旦これはどういうことかとか、これをやるならこういうふうにしたほうが良いとか、そういうことが必要です。その後、それを全体的にこうでした。2段階は大変ですけども、これはやったほうが良いんじゃないかなと思います。

【横山会長】

山下先生、今おっしゃったのはどういうことですか。

6月、前半の段階で、各審議委員が、実施状況一覧に意見を出しますよね。それは前年度の事業に対する評価。

【山下委員】

基本的には、その年です。今年度の事業をやっていかないと改善しません。

【横山会長】

それはどうなんでしょうか。今こういうことをやろうと思っています、っていうことまで一応書いてもらう。

【山下委員】

こういうことをやる、やっていきますっていう段階があって、こういうふうになります。もちろん前の年のきっちりやってもいいと思うんですけども、その年にやろうということ。

要は、改善が1年前の問題と今の問題で全然違うと思うので、簡単でもキャッチアップするような形、これに基づいてこういう計画を進めています。

(今年度は、) 予算の配分としてこういうイベントとか、こういう人たちを呼ぶことになっていますみたいなのが、ある程度出てきたときに何か意見を言う。

【横山会長】

それはこのシートの中では、具体的に何をするかっていうことは、「今後の方針」のところに書いてもらうことになりますよね。

それは3月の段階での引継ぎで、次年度は大体こういうことになるっていうことをここに書いてもらう。それがどこまで具体的か分かりません。逆に、事務局のほうに聞かないといけないことなのかなと思いますけど。今後の方針というのが、4月以降の事業が具体的にこういうことって3月段階で書けるのかどうか。

【事務局(末廣)】

難しいと思います。

【横山会長】

3月の終わりに今年度やってきたことと、次への課題、それから今後の方針を書いてもらう。

【山下委員】

その3月のときには書けないまでも、7月・8月の段階で、今年度になってから具体的に動いていることみたいなものは、一旦審議してもいいんじゃないかなと。

【事務局(末廣)】

年度末の事業が終わった時に評価するのはもちろんだけど、中間点で一度評価する。ということですか。

できないことはないと思うんですけど、途中経過を皆さんにお知らせして評価してもらう。というだけの話になると思います。

【山下委員】

全部が網羅的ではなくてもいいと思うんですが、何か重点的な値のものに関しては、その進捗が<sup>かんば</sup>芳しくなかったり、今対応しなければならない新しい問題に関しては、それこそ三つ四つでもいいかなと思うんですけども、審議会としてよりよい事業推進のためには、原動力になるようなことも言わせていただくとありがたいなとは思っています。かなり難しいとは思いますが。

【横山会長】

確かに議論を網羅的にせずに、重点的なもの、特に遅れているものとか、今ここに力を入れてほしいなと思うところとかを幾つか取上げて、今年の進捗状況どうでしょうかというふうにお尋ねする。そして、審議会に返していただくというようなことがお願いできればというふうに思います。

【山下委員】

もし来年か再来年、トライアルでやるんだったら、事務局で一番悩ましい問題とかを幾つか出していただいて、審議会でアイデアやこういうふうにやったら良いんじゃないかみたいなことを言った上で、後半に期待をしますみたいなことがあったほうが良いんじゃないかなど。

【事務局（末廣）】

今の御意見とかお話は、この議題の②の二つ目、「推進事業実施状況一覧における審議の仕方」というところで話はさせていただこうかなと思ってたんですけど。

今言われたように全体的じゃなくて、一つ二つ三つぐらいピックアップして審議をしましょう、っていうお話を議題の②の所でしようとはしておりましたので、この議題の①のところは、書式についてのお話をさせていただきたいなと思っております。

【漆谷委員】

シートの書式ですけど、「担当課自己評価」っていうのは、最後に来てるので、そこはちょっと上のほうが良い。下の「審議会評価」が先あって、それに対する実際の意見とか考え方が来るのかなど。

【横山会長】

いや、こちらの評価は、各課が自分たちで評価をして、それに対して審議会がどう評価するかっていう形なんです。

でも、これは別に入れなくてもいいんです。今、本市の実施状況一覧のほうにはABC評価は入っていません。これはあくまでも参考。評価を入れるかどうかということについても、御意見を頂ければ良いのかなど。

【山口委員】

ABC評価は、入れたほうがいい。審議が、しやすそうです。  
審議するのに、こういうのはあったほうがいいです。

【事務局（末廣）】

もしABC評価が採用されるとしたら、5段階じゃなくてこの市町村みたいに4段階でしょうか？  
5段階にすると、無難な三段目の「C」に入力される担当課が多いので、この市町村は、あえて4段階にされているのかなと思いました。

よって、もし採用されるのであれば、その所まで考えておかないといけないなとは思いました。

【横山会長】

いや5段階で良いですよ。

評価項目は今までありませんでしたけれども、評価をしたほうが良いという御意見が多ければ採用する可能性があるのかなと思います。

【山下委員】

御指摘あったように評価するには指標が必要。例えばAが何%など。  
そうすると、指標を設定するのでまた大騒ぎしそうですね。

**【事務局(末廣)】**

この市町村は、このシートだけで運用されていますか？他にも、その評価に対する指標が定まっているデータ(書式)もあったのでは？

**【横山会長】**

この市町村は、このシート以外はない。

これ、今山口さん言われたような意見が出ていて、自己評価といっても、例えば人権意識を向上させるみたいなすごい大きなものに対しては、いつも A にはならないわけですよ。その結果として、いつもそこは B や C になってしまいます。

担当課としても、その年度に合った事業としてはよくやったということになるわけですよ。

先ほど言われたように、どの点を評価するのかっていうことが明確なほうが良いというのは出たわけですよ。

それをこれから考えていきたいのですが、余りその評価の項目にこだわると、担当課は大変なことになる。その評価のために何かしないといけなくなってしまうから、それがあまり負担にならないような評価項目を作るとしても、そういうことも必要になるという意見は、この市町村でも出ました。

**【漆谷委員】**

図書館の審議会でちょっと問いが入って、数字で細かく評価されているんです。

80%、次が 90%とかに設定されている。自分は、もう 80%なら良いのではないですかと言ったことがあります。だから、自己評価が負担になるんだったら、無くてもいいのかなと。

逆に、事業に対する意識とか取るときのアンケート調査等は無かったりするので、事業に対する評価、二つ取り組んだことと、課題と方針があればですね。

**【事務局(末廣)】**

確かに事務局側からしても市役所の各課に記入依頼するときに、記入欄が多ければ申し訳ない気がします。なので、審議する側と審議される側、お互いが負担にならない程度で、省略できるものは省略させていただきたいなと思っています。例えばこの資料 1 の中では、目標とは書いてありますけどすごくシンプルで、市の実施状況一覧中の目標は、皆さん結構びっしり書かれているので、ある意味分かりやすいんですけど、ある意味分かりにくいところでもあって、省略できるものは省略させてもらいたい。それが記入側からの本音です。

**【横山会長】**

チェックすれば良いみたいな形、当初の計画どおり実施できましたかとか。

**【事務局(末廣)】**

例えば、箇条書にしてそれに対してのチェックを入れていく形式など。

**【横山会長】**

シンプルなものも3つ4つぐらい上げておくとかだったら、良いのではないかと感じてきている。

目標を、本来の大きな目標の達成までには至らなかったけれど、当初計画したものは実施できた。余り十分実施できなかった、成果が余り上がらなかった、何かそれぐらいの感じ。

担当課として、こういうところは今年頑張ったなど余りそこを正確さとかデータとか求めると、すごく大変

だと思えます。

もし評価するとすれば、そういうふうなことが分かるような項目ぐらいは必要という感じです。

【山下委員】

私の大学の教員評価の事務自己評価では、その目標を出して、難易度とかを自分で設定します。自分は、この分野で達成します、みたいな。それに対しての最後の評価は、期待どおり・期待以上・期待以下、この三つで、それぞれの担当課の職員全員で出してもらおうとかでもいいかなと。

こういう目標に対しての成果を 1 人が判断するよりは 5 人ぐらいで、それを研究するとか、コメントを高めるみたいな感じかなあと思ったりしています。

【漆谷委員】

実施状況一覧は、具体的目標があって、それから取り組んだことがあったので、そのほうがいいのかと思います。

それぞれの項目に、大きな具体的施策とか事業では、もっと具体化して、具体的目標を上げて、それに対する今書いてある取組が、できました・できませんでしたっていうことだったら、何か見やすいのかな。それぞれの項目に対しては、例えば、△とか○にすると具体的に分かりやすいかなと思います。

【横山会長】

そうすると、そこはさっき言われたような 3 段階評価ぐらいでチェックしておいて、それで、総合的には 4 段階から 6 段階の評価にすると。

思案後、それをもとに作ってみようかと思えますので、大ざっぱにこの方向で了解していただければ少し細かな項目についてはここでは今、決められるような資料提供はできないので、次回の第 1 回審議会、今頂いた御意見を反映したようなものを提案させてもらえたらなと思えますけどいかがでしょうか。

【山下委員】

私、今までの実施状況一覧で、去年と同じようにできましたみたいな。そんな成果内容ばかりがあったので、その期待以上とか、ちょっとその工夫をしたとか、違う方向を試みたとか、そういう改善しようというシート。今は 100%かもしれないけど、でも時代が変わっていろんな方法があるので、そういったシートを描きながら、去年よりはもっとこういうところ工夫して良かった、何か自分で振り返られるような選択肢になったらいいかなと思います。

【三牧委員】

すいません。私がかうまく理解できていないかもしれないですけど、この単票形式(シート)に変えたいと言われているってことですか。

【横山会長】

はい。そうですね。

【三牧委員】

前回の話して実施状況一覧の何が問題で、何を換えようとしているかという、先ほど見やすさっていうのが一つあったと思うんですけど、それ以外に何を問題視されていて、今回換えようとしておられるのか私がかうまく理解できなかった。何が悪かったんですかね。

【横山会長】

詳しく書いてあるところもあるんですが、実際に実施したことがよく分からない。具体的に何が変わったのかっていうことだったと思うんですね。

でも、抽象的にしか書いてないところも結構ある。だから、何が実施されて何が良くなったかがあまり分からない。

【三牧委員】

その時間軸にとって前回何をやって、今回何をやったかっていうのが計画と実績も含めて分かりにくいってのが一つあったということですね。それですと今の二つは違う問題だと思って、単票形式(シート)にするのと表形式(実施状況一覧)にするのはまた違う問題だと思うんですね。

私個人としては、表形式のほうが、見やすいなと思いました。

それは、これ多分80か90項目あるので、これを100枚ぐらい見るのはちょっとつらいなと思ったので、表形式(実施状況一覧)のほうが見やすいかなと思ったのが1点ですね。

もう一つの問題のほうは、何が計画立てられて、何が実績だったかっていうのを時間に沿って書けばいいような形に整理するのがいいのかなと思いました。

今回のこの単票形式(シート)のほうですと、計画が書いてないですし、事業内容は細かく分からないので、この内容だと多分以前のほうが分かると思います。

このシート内で書かれている「具体的事業」については、この具体的事業の内容や計画が分からない。具体的に取り組んだ内容は、実績に入っているのので、何をやろうとして何ができたかっていうのがこれだと分からないという形になろうかと思っています。

ですので、その問題点でいうと、シートのほうが分かりづらくなるかなと思います。この実施状況一覧のほうが、シートよりも詳しく書いてちゃんと列記していますので、実施状況一覧のほうがいいのかなと私は思いました。

そこの問題は何かっていうのを明確にされて、この表を改善されるっていうのがもしかしたら良いのかなと思いました。

あと、もう一つは評価ということなんですけど、これを評価して、次何をこれに対するかってことだと思うんですね。悪かったら改善する、良かったら改善して必要になると思うので、それを誰がするかっていうところが、多分問題になるのかなと。これは大変だろうとやるべきだと思うんですね。

ただ、それが次に繋がらないのであれば、それは意味がないので、それを繋げる。

一番最初の時系列で何を計画して何ができたかっていうところの次の問題に行くために、この評価を使うほうがいいのかなと思いました。

それで言うと、今の資料(実施状況一覧)は成果・評価欄に一応成果が書かれているので、一旦これで問題点や意見が出て、事前の設定になるっていうのは、今の実施状況一覧ではその流れになっているんじゃないかなと思います。ですので、前の資料(実施状況一覧)のほうが何か良いような気がします。ただ問題が、この資料を作って、目標に対して、次どうするかっていうその年度ごとのつながりがあまり見えないところがあるのではないかと。そこが問題のような気がするんですけど、どうでしょうか。

【横山会長】

ずれるんですね。

【三牧委員】

そのずれたものが、それ以前にいかないで、今の問題になってるんで、この様式を変えるというよりかは、この目標を立てたものが次年度どうなりますかっていうところに繋がっていく。いつ何をやるかっていうところが明確になると、これ自体がすごく良くなっていくのかなというふうに、個人的には思いました。

#### 【横山会長】

各課に記入してもらった成果等は、3月末に男女共同参画推進室（以下「推進室」という）がまとめているじゃないですか。審議委員がもらう（目にする）のが6月になるわけですね。その時点では、もう各事業はスタートしているわけですね。だからずれが出てくるけれど、山下委員が言われたように、実際に計画を立てても実施するのが年の後半であれば、早めに改善できるところは意見を全部とは言わないけれど、特にここは言っていきましょう、みたいな事があるといいのではないのでしょうか。

表の問題は、89項目あって、ただ皆さんにばらばらにお願いしていて、それを一緒に検討するということが全然できていない。それをどうするかと。

いずれにしても項目ごとのシートが100枚、89枚あったとしても同じことなんですよね。

それをもう少し、意味のある議論ができるような形にしたい。

89項目1から全部やらなくてもいいけれど、皆さんが一応そのことを共有して意見を言ってもらおう。担当したものについてだけその人の意見を入れるということよりも、ここはみんなで話合しましょう。全て網羅できなくても、特にここを議論しませんかみたいな意見がどんどん出るような形があるといいんじゃないかなと思いますね。

#### 【三牧委員】

80、90項目はやはり見切れないので、特に優先してこれをやるものとかサンプリングしてこれを無作為抽出してやるとか、そういう話が前回の審議会において出たような気がします。

それが次の流れというか、進め方のところには多分反映されるからですね。

#### 【横山会長】

2番目の議題にも入ってしまいましたけど、その辺りで進めることが出来たらと思います。実施状況一覧等において、担当課とのやりとりをすることに意味がある。

#### 【漆谷委員】

今までの実施状況一覧を見ると、計画や成果・評価が丸コピーだったんですよ。

だから全くしてないところがあるんです。

これきちんと1枚ベースにして、計画・実施・課題というふうにして流れがある中で一つずつ評価していく。していないってことは、逆に分かるように。旧実施状況一覧だったらもう出せばいい、埋めればいいって感じが何個もあったんですよ。

「何もない」とか、「評価なし」とかもあったので、この1枚ベースにすることで、時間がかかるかもしれないけど、量は少なくともいいからきちんと評価するっていうのが必要かなと。

#### 【山下委員】

私たちは、実施状況一覧の方が見やすいが、作成する側がコピペに走ってしまうと良くないなと思います。実施状況一覧のエクセルデータ（関数等）が崩れたりすると大変なので、シートに記入してもらえば実施状況一覧に反映されると便利だと思います。

それぞれの担当課が、ちゃんとそれぞれに向き合っシートを作っていくっていうのが大切だと思います

す。実施状況一覧の方が経緯も分かるっていうところなんですけど、どちらも一長一短です。

【横山会長】

項目を大きく変えないのであれば、それを実施状況一覧にするっていうことに、この個表で書いてもらったものが、実施状況一覧の表で別途審議会の資料として持っておくみたいな作業を「誰がするんだ」という話になりますけれど、不可能ではないということです。

【山下委員】

それをやるんだったら、業務フォーマットでやれば出来ると思う。

【横山会長】

データベースソフトみたいなものが有りますけどね。

ちょっとそれは、今のご意見いただいて、どこまで出来るかは御相談しないと、このことですごい負担になったら意味がないわけですよ。

本来実施すべきものはそこじゃないので、そこはもしかしたら、推進室がというよりも審議委員で話し合っている所はやっていくみたいなことも考えないといけないかもしれないです、御協力をしていたかないといけないかもしれません。

一応、シートも実施状況一覧も両方作る方向でしょうか。

【三牧委員】

逆に両方作るのは止めたいなあと思いますね。

私は、実施状況一覧に見慣れているので他の方も含めて比較できるので見やすいなあと思ったんですけど、シートのほうが気持ちとして向き合うという所が出るのであれば、そちらでというのも有りなのかなとは思っています。あとはもう、作業の問題だと思いますね。

【事務局（谷口部長）】

参考に配らせてもらっているシートは、事業項目ごとに89枚あったとしても、一つ一つ全体が分からないので、その全体が一覧できる鑑となるものが必要ではないでしょうか。このシートが、どの事業にぶら下がっているのかは必要だと思います。

例えば、（実施状況一覧内に）こういう事業があります。そこからシートを捲り、具体的な内容を確認するという手順を考えているので、このシートだけで進めて行くことは考えていませんでした。

多分、全体が見えないと分かりづらくなると思います。

【横山会長】

はい。ずっと本来の目標と対応させていかなければならない訳です。

【漆谷委員】

ただ、結局、会長がおっしゃったように、今までも、後出しじゃんけんじゃないですけど、各委員個人では評価するけど、全体として話し合うことがなかったのが、項目は少ないにしろ全体は会長副会長さんが見て、これは大事なことから話し合う場にした方が、半歩でも一歩でも進んでいくんじゃないでしょうか。

【横山会長】

今の話し合いは、担当課がシートを作っていくときに、これだけ渡しても意味が分からないということですよ。

【事務局（谷口部長）】

一つの事業でも、学校教育課や郷育推進課など部署が多岐にわたっているので見える化のためのシートだと思っています。次のステップは、どう審議してもらうか。先ほどのお話のとおり、目標達成に至らなかった事業項目については、ピックアップしてこのシートを活用していただくのは有りだと思います。

【横山会長】

5つの重点目標が有り、事業項目は全部で89項目に有るわけですが、その重点目標ごとに冊子を作る。例えば、『重点目標Ⅰ 誰もが生き方を尊重されるまちづくり』の中で、一旦まとめて議論する。時間がかかるといえはかかるかもしれませんが、重点目標ごとに、各事業項目の目標に対して担当課が何をやっているのかというの分かるような形で議論していくと分かりやすいのではないかと思います。各課が、男女共同参画のプランに対応するためにどんなことを工夫されているのかということ、審議会の私たちが意識しないと、やっぱり意見も言えないのかなというふうには思います。そのための資料作りや工夫・進め方になります。

先ほど御意見頂いたように、シートベースで議論していきましょうということを基本に承認していただければ、もう少し分かりやすく議論しやすくなると思っています。

【山下委員】

(市の)業務が増えないようにしたいですね。

【横山会長】

シートは、御相談しながら工夫しながら進めるとみんな思っているところです。どういうふうにするかは、もう少し具体的に、今の御意見を伺って次の第1回審議会で提案させていただくということでしょうか。

【事務局（末廣）】

4月からの令和7年度の実施状況一覧やシートのたたき台を、今の意見を基に作るということになりますが、そうすると、もうちょっと具体的に方向性を結論づけないと作る側としては難しいです。今の話は、シートベースでいくという方針に決まったということでしょうか。

【横山会長】

はい、進めていくということですよ。

担当課とのやりとりは、シートベースで出してもらおう。そのときに、意見のあった項目を入れないといけませんが、例えば基本的方向や具体的に出ている項目については、ここに枠を作る。具体的に取組んだ内容は、分かりやすく今年度どういうことをやったかを記入など、基本的に旧実施状況一覧に書かれていた項目は、反映するというかと思っています。

【三牧委員】

このシートの内容を変えるってことですね。シートのこの項目を基本とするということですか。この中で取捨選択をするってことですね。

そうなる、先ほど言ったのは、「課題」と「今後の方針」については変えたい。  
私は、具体的な事業内容についてもう少し詳しい内容が欲しい。

【横山会長】

そうですね。シート内の「課題・今後の方針」は別々にする。ここの項目は変えたい。

～ここからホワイトボードを使い全員で協議～

～その後、実施状況一覧およびシートの事務局案を説明～

◆決定事項(別紙男女共同参画推進実施状況一覧およびシートを参照)

- ・新しい一覧とシートは、各課の推進員が、3月に実施内容や次年度目標を記入する時点から採用する
- ・実施状況一覧の「自己評価」「審議会評価」欄は、ABCDEの五段階評価とする。
- ・シート内の「成果・評価」欄は、「具体的に取組んだ内容」に文言を変更する。
- ・シート内の「男女共同参画審議会意見」欄と「令和〇年度目標設定」欄を入れ替える。(目標欄が先)

【藤田副会長】

各課に、次年度具体的な取組みから目標まで記入したものを、できるだけ早く審議員の方たちに見てもらえるか。さらに、審議員が意見したものを各課に見てもらえるかは要検討になる。

【横山会長】

流れがちよっと早くなるだけで、やることはあんまり大きく変わらない。現場(各課)に早めに意見を伝えることができるっていうところだと思うんですよ。

それと、シートの形にして、もう少し直面していただくみたいなのところかな。

【花野委員】

私たちの個々の意見はどこで評価されるんでしょうかっていうことがずっとはありましたからね。

【横山会長】

議題の①は、以上の内容で御承認頂いたということによろしいでしょうか。

議題

②来年度の審議会運営について

- ・「第2次男女共同参画プラン・ふくつ」

【事務局(末廣)】

来年度の審議会の運営について2点あります。まず1点目、「第2次男女共同参画プランふくつ」という、本市の男女共同参画推進のための行動計画が記された計画書があります。その計画は、令和8年度に終了いたします。

4月からの令和7年度は、令和9年度スタートの新プランを作成するための準備として、市民の方から意見とか現状を把握するための市民アンケートを実施する予定です。

来年度の審議会の中で、来年度実施するアンケート内容とか計画内容等についての御相談や御意見をいただきたいと考えております。

来年度の審議会は、今年度同様 3 回の開催を予定しております。

1 回目が各課から集約した 89 項目の目標や実施内容などを審議員に提示する。2 回目の審議会で、各審議員の意見を集約したものを確認していただく。3 回目は、89 項目に対する審議員の意見の最終確認になります。

第 2 回目から、審議員の意見の変更や修正がなければ、この第 3 回目は開催しない可能性が有ります。意見を集約したエクセルデータを送って確認していただくだけになるかもかもしれません  
以上が、大まかなスケジュールになります。

#### 【横山会長】

アンケート調査についての審議は、第何回目の審議会において審議しますか？

#### 【事務局（末廣）】

（スケジュール作成中のため）未定ですが、第 1 回の審議会でご案内できればと考えています。

ちなみに 1 回目の審議会は、通年とおおり 6 月に開催予定でしたが、市長選の関係で 7 月開催になると思われますのでよろしくお願いいたします。

#### 【山下委員】

プラン作成にあたり、策定するための委員会とかは立ち上がるのですか？

どこでもプラン用の委員会が立ち上がるが多いため、当審議会と重複して別の組織が立ち上がるのかと思いました。

#### 【事務局（末廣）】

別の委員会等は立ち上がりません。専門業者に委託しようとしたが財政的に無理でした。

#### 【事務局（谷口部長）】

全庁的に各担当部署で分析等も含め計画策定するようになっていきます。

#### 【山下委員】

アンケート調査の項目や調査表を作ったりするのも内部でやられる訳ですか。

私は、その辺アンケートの専門なので、できれば、個人的に相談にのります。

内製すると結構大変です。大変なことがあったらお尋ねください。

#### 【横山会長】

できれば、そのアンケート等の項目等については、一度審議会で見せていただいて、意見を出してもらいたいというやり方についても検討してください。

市民の意識調査っていうのは、今までのプランがどんなふう生きてきたかっていうことを見ることになるわけですよ。ある意味、成果が分かる唯一の機会なわけですよ。

それなので、そのアンケートを基に次のプランが立つと思いますので、ぜひそれは当審議会でも議論させていただきたいです。

**【事務局（吉村室長）】**

ある程度サンプル等ができた段階でお出しさせていただいて、意見をお伺いするっていう形で進めたいと思っております。

**【横山会長】**

いろいろ大変かと思いますが、私たちも協力します。私も専門ですので協力させていただきますし、先ほど山下先生もアンケートのほうは協力しますと仰っていただきました。データは、きれいな形じゃなくてもいいですから、送っていただいたらこちらでも整理したりできます。意見を言うばかりじゃなくって、審議員も働きます。

と勝手に言っていていいでしょうか。協力を頂ければ、よろしく申し上げます。

**議題**

**②来年度の審議会運営について**

- ・推進事業実施状況一覧における審議の仕方

**【事務局（末廣）】**

続きまして、2点目です。去年の10月第2回目の審議会で、佐藤委員のほうから提案がありました。推進事業実施状況一覧における審議の仕方についてなんですが、この一覧には89の実施項目があるので、みんなで一つ一つ審議するには時間的な余裕がない。

ということで、審議会では、2つ3つ項目をピックアップして審議してはどうかと提案がありました。

事務局としては、意見を深めたい項目や取組を強化したい項目とかを重点項目として、例えば皆さんに1個ずつ選んで頂いて、その中から事務局と会長でさらに2つ3つに絞って、今年の第1回目の審議会の中で審議していただけたらなと考えておりますが、いかがでしょうか。

**【横山会長】**

結論まで至るかどうかは別としても、間を置かずに次回を設定するという形なのかなと思う。

やっぱりメールでもやりとり難しいですよ、意見もなかなか言いづらいですしね。

やっぱり対面で審議したいと思います。

この議題②の2点目は以上です。

そういうことで、次年度、またよろしくお願ひしたいと思ひます。

**4. その他**

来年度の審議会の体制について

**【横山会長】**

来年度の審議会の体制について、事務局末廣さんの方からよろしいですか。お願いします。

**【事務局（末廣）】**

審議委員の皆様におかれましては、今年度で2年間の任期が終了しました。お疲れさまでした。半数以上の方が初任の中、会長を始め全員で男女共同参画社会を推進するための討論が出来たのではないかと考えております。ありがとうございました。

市民公募で委員になられた漆谷委員・山口委員と藤田委員は、今年度3期目で6年間の任期満了と

なります。それ以外の委員の方の任期は、最長 6 年まで継続することが出来ます。継続するかしないかは、後日、個別に伺いたいと思います。もし今日の時点で、来年度の意向が決まっている方がいらっしゃるのであれば、私までご連絡をお願いいたします。

次第4については、以上です。

【横山会長】

藤田副会長は、任期満了まで 6 年間やっていただきました。本当にありがとうございました。

それから、市民公募の委員 2 人も本当にありがとうございました。それぞれ、一言ずつお言葉頂ければと思います。

～藤田副会長・漆谷委員・山口委員のあいさつ～

【横山会長】

大変長くなりまして、お疲れさまでした。

御協力頂きましてありがとうございました。

また次年度も、いろんな形で一緒にやっていきたいと思っています。

今年度は本当にありがとうございました。

お疲れさまでした。